

鉄道駅のバリアフリー化に対する補助制度

鉄道駅のバリアフリー化等に対する補助

※どの補助制度も利用者数にかかわらず利用可能

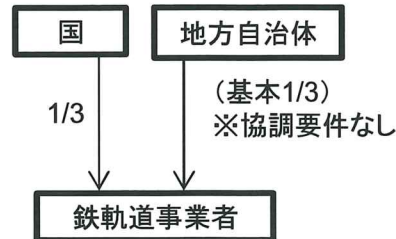
【地域公共交通確保維持改善事業費補助金】

(地域公共交通バリア解消促進等事業)

〈対象事業者〉 JR、民鉄

〈補助対象事業〉 エレベーター、
バリアフリースイレ、
内方線付き点状ブロック
の整備 等

〈補助率上限〉 1/3



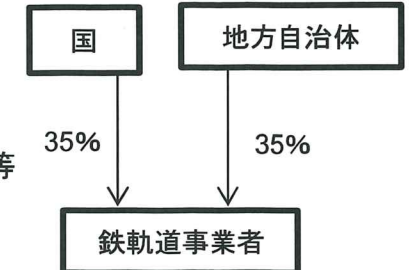
【都市鉄道整備事業費補助】

(地下高速鉄道)

〈対象事業者〉 地下鉄事業者

〈補助対象事業〉 エレベーター、ホームドア 等

〈補助率上限〉 35%

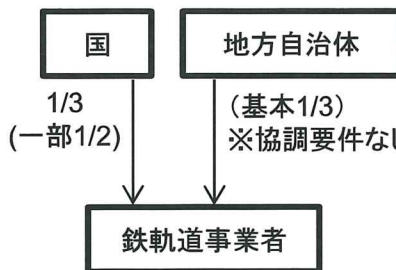


【観光振興事業費補助金】(公共交通利用環境の革新等)

〈対象事業者〉 民鉄(大手の都市部を除く)
※JR本州3社は対象外

〈補助対象事業〉 エレベーター、
バリアフリースイレの整備 等
(注)外国人旅行者のニーズが特に高い多言語対応等
とあわせた整備に限る

〈補助率上限〉 1/3(要件を満たせば1/2)



【鉄道駅総合改善事業費補助】

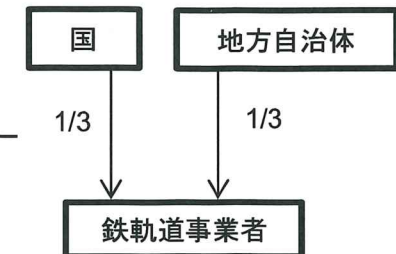
(次世代ステーション創造事業)

〈対象事業者〉 JR、民鉄

〈補助対象事業〉 駅改良と併せて行うバリアフリー
施設等の整備

〈補助率上限〉 1/3

※バリアフリー基本構想に位置付けられた
鉄道駅は 1/2



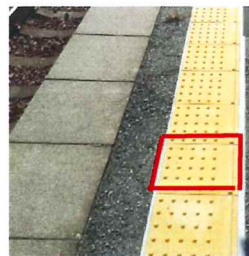
(代表的なバリアフリー設備)



エレベーター



ホームドア



内方線付き点状ブロック



バリアフリースイレ

【鉄道施設総合安全対策事業費補助】

(ホームドア整備事業)

〈対象事業者〉 JR、民鉄

〈補助対象事業〉 ホームドアの整備

〈補助率上限〉 1/3

※バリアフリー基本構想に位置付けられた
鉄道駅は 1/2

